



感染者の動向

| | |
|------------|--------------|
| 感染者数／1日* | 14,319人 (減少) |
| 累計死亡者数 | 14,485人 |
| 死亡者数／100万人 | 208人 |

(*9月7日～9月13日の平均) ※出所：WHO



行動・活動制限

活動制限

施設閉鎖措置

実施主体

タイ政府：以下2つの省庁横断組織で管理。

- 新型コロナウイルス状況管理センター (CCSA)
- 経済状況管理センター (CESA)

具体的制限

・バンコク都、チャチュンサオ県、チョンブリ県、アユタヤ県など29都県を厳格最高度管理区域に指定。

その他 (在宅勤務・大規模イベント自粛要請)

- 不要不急のダークレッドゾーンからの移動は不可
- 夜間外出の禁止 (21時～4時)。少なくとも9月30日まで継続。
- 25名以上が参加する活動を禁止。
- 在宅勤務の徹底を要請。



空港再開／直行便

空港

稼働中

日本からの直行便・乗り継ぎ便

- 羽田／成田⇄バンコク：JAL、ANAが毎日運航。タイ航空は週5便。
- 関空⇄バンコク：タイ航空が週2便。JALが週1便。
- 中部⇄バンコク：タイ航空が週2便。
- 検疫所長の指定場所で3日間待機 (3泊4日) した後、PCR検査を義務付け ([詳細](#))
- 国内便：9月1日から再開 ([短信](#))



経済活動再開の状況

経済活動制限

主要規制・制限 (バンコクなどの場合)

- 学校・教育機関：防疫措置をとり施設使用可。
- 飲食店：20時まで営業可、条件付きで飲食可。アルコール提供不可。
- 百貨店・市場等：20時まで営業可
- コンビニ：20時～翌朝4時まで営業不可
- 美容院、足マッサージ：事前予約制で可
- 公園、運動場、屋内外運動施設：20時迄
- 塾、映画館、プール、フィットネス、宴会場：閉鎖



日本人に対する入国制限

日本人の入国

条件付きで可

外務省渡航情報

レベル3：渡航は止めてください。(渡航中止勧告)

措置の概要

2021年1月からの入国手続きフロー、入国許可証 (COE) 発給手続きは以下を参照。

<http://site.thaiembassy.jp/jp/news/announcement/10045/>
<http://site.thaiembassy.jp/jp/news/announcement/9763/>

【全体フロー】

- ①有効な労働許可証 (WP)、BOIからのビザ申請承認状、もしくは労働省からのWP3 (WP事前審査受理書) を準備【A】
- ② (ビザ非保有者のみ) ビザ申請・取得
- ③以下手続きを平行して実施
 - ・航空券の購入
 - ・[隔離ホテル \(ASQ\) の予約](#)
 - ・医療保険証取得 (コロナ治療費含む10万ドル以上付保)
- ④[入国許可証 \(Certificate of Entry, COE\) の申請](#)
- ⑤PCR検査・非感染証明書 (渡航72時間以内) の入手

【上記④のCOE申請時に必要な書類】

COE申請システム経由で、①パスポートのコピー、②医療保険証、③追加書類 (タイ入国目的に応じた書類) を申請。事前承認後、航空券やASQの予約確認書などを登録。

【出国時必要書類】

- ①パスポート、②COE、③PCR検査・非感染証明書 (原本)、④医療保険証、⑤ASQ宿泊予約確認書、⑥T-8フォーム

※[プーケット・サンドボックス制度](#)／[サムイ・プラス制度](#)：日本からプーケットやサムイ島、パンガン島、タオ島に渡航する場合、隔離検疫を免除される制度が利用できる。

9月末まで移動規制を継続

- ・在タイ日本大使館によると、9月10日、タイ政府の新型コロナ対策本部 (CCSA) は、国内での各種活動および人の移動に係る規制措置を9月30日まで継続して適用することを決定した。なお「感染のない顧客」の入店時のワクチン接種完了証明の提示等については、将来的な本格実施に向けたもので、現時点では協力要請に留まっている。



バンコク事務所
北見 創



現地日系企業の活動状況

現地日系企業の抱える課題

操業状況

- 2021年第2四半期（4～6月）第2四半期のGDP成長率は、7.5%と大きく改善した（前四半期は▲2.6%）。四半期の成長率がプラスになるのは6四半期ぶり。個人消費や輸出が改善した。（[ビジネス短信](#)）
- タイ工業省工業経済事務局（OIE）は8月30日、2021年7月の製造業生産指数（MPI、付加価値額ウェイト、基準年2016年＝100）が前年同月比5.1%増の91.4となったと発表した。
- タイ工業連盟（FTI）は8月25日、2021年7月の自動車生産台数が、前年同月比37.5%増の12万2,852台だったと発表した（[ビジネス短信](#)）。二輪生産台数は前年同月比9.2%減の13万918台だった（[ビジネス短信](#)）

サプライチェーン、物流への影響

- 7月中旬から、タイ国内の感染者数は連日1万人を超えるなど感染が拡大しており、クラスター発生による工場の操業停止や、それに伴う部材供給先での操業停止など、サプライチェーン上の影響が散見されている。夜間貨物輸送や県境移動に規制の動きがあるため、注意が必要である（[ビジネス短信](#)）

現在抱える課題、懸念

- バンコク日本人商工会議所（JCC）が6月30日に公表した「2021年上期タイ国日系企業景気動向調査」によると、在タイ日系企業の業況感DIは、2020年下期にプラス24と前期（マイナス64）から大幅に改善し、2021年上期にかけてはプラス25と前期と同水準だった。（[ビジネス短信](#)）
- 2021年下期の見通しは、新型コロナウイルス第3波の感染拡大や変異株などの懸念などからプラス幅は縮小するものの、業況感はプラスを維持（プラス25→プラス14）する見通しだ。
- 新型肺炎の影響を踏まえた今後の事業活動に対する見通しとしては、「継続もしくは拡大」が66%と最も回答が多かった。次いで、「現時点では不明」（30%）、「縮小」（4%）となった。



現地政府の企業支援策

ジェトロ・バンコクでは、タイにおける新型コロナ関連支援措置を掲載しています。
https://www.jetro.go.jp/ext_images/world/covid-19/asia/th/list0421.pdf

J

ジェトロからのお知らせ

イベント情報

開催日 セミナー・イベント名

| | |
|----------|----------------------------------|
| 9月29日（水） | 【ウェビナー】東南アジア・中国・インド10カ国 からお届け！海外 |
| 9月30日（木） | 駐在アドバイザーが語る 現地ビジネス環境と投資トレンド |
| 10月1日（金） | （お申込みは こちら ） |

メールマガジン：jetro infomail @thai

ジェトロ・バンコクは、メールマガジンで在タイ日系企業向けに情報提供を行っています。新型コロナに関する最新の情報も配信しています。（登録は[こちら](#)から）

ジェトロメンバーズ

ジェトロメンバーズは、世界約70カ所の海外事務所とオンライン面談をすることが可能です。また、ジェトロメンバーズの方に向けて、毎日、コロナ関連動向を含む海外の政治・経済の速報記事を配信中。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

お問い合わせ

（国内）
新型コロナウイルス相談窓口
TEL：03-3582-5651

（平日9時～12時/13時～17時
（土日、祝祭日を除く））

（海外）ジェトロ・バンコク事務所

■ 法務・労務・税務等専門家へのご相談
E-mail：PF-BGK@jetro.go.jp
■ その他ご相談、事業・本記載内容への問合せ
E-mail：BGK@jetro.go.jp